

＜対策のポイント＞

2027年国際園芸博覧会において、我が国の花きや園芸文化、最先端の技術や食の魅力の発信を通じて、花き産業の成長産業化をはじめとする農林水産業・食品産業の活性化を図るため、日本国政府出展等の運営、機運醸成に係る取組、途上国の出展支援、来場者や参加者等の安全確保のための取組、展示や催事の充実に向けた企画等を実施します。また、閉幕後を見据えたレガシーの継承に資する取組や会場施設の維持・撤去等を実施します。

＜政策目標＞

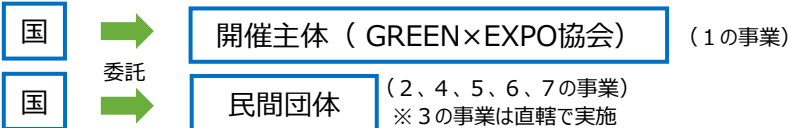
花き産出額の増加（3,684億円〔令和4年〕→4,500億円〔令和12年まで〕）

＜事業の内容＞

- 1. 国際園芸博覧会会場建設事業 1,091百万円（前年度 2,388百万円）
開催主体が実施する会場施設の維持・撤去等に要する経費を支援します。
- 2. 国際園芸博覧会政府出展委託事業 2,800百万円（前年度 2,370百万円）
自然との共生から生まれた日本の文化や暮らし、社会課題を解決する技術や取組等を国内外に発信する日本国政府苑等の整備・運営等を実施します。
- 3. 国際園芸博覧会施設整備事業 278百万円（前年度 2,122百万円）
日本国政府出展の展示施設の撤去等を実施します。
- 4. 国際園芸博覧会推進活動委託事業 720百万円（前年度 140百万円）
博覧会への来場促進活動等の機運醸成に係る取組、BIE（博覧会国際事務局）や各国の要人対応等を実施します。
- 5. 国際園芸博覧会途上国支援委託事業 1,393百万円（前年度 1,084百万円）
参加途上国の出展支援を実施します。
- 6. 国際園芸博覧会安全確保委託事業 4,177百万円（前年度 12百万円）
来場者や参加者等の安全確保に必要な取組を実施します。
- 7. 国際園芸博覧会展示・催事企画委託事業 800百万円（前年度 -）
博覧会会場内において展示や催事の充実に向けた企画を実施します。

＜事業の流れ＞

1 / 3（国土交通省と1 / 6ずつ負担）



＜事業イメージ＞

【GREEN×EXPO 2027の概要】

テーマ：幸せを創る明日の風景

～Scenery of the Future for Happiness～

位置付け：最上位の国際園芸博覧会（A1）

※A1は、我が国では1990年の国際花と緑の博覧会（大阪市）以来2回目

開催場所：旧上瀬谷通信施設の一部（約100ha）

（神奈川県横浜市旭区・瀬谷区）

開催期間：2027年3月19日～9月26日（192日間）

参加者数：1,500万人（ICT活用や地域連携

などの多様な参加形態を含む）

（有料来場者数：1,000万人以上）

開催主体：GREEN×EXPO協会



公式マスコットキャラクター
トウクトウク



公式ロゴマーク



会場位置図



会場パース図

【お問い合わせ先】

（1～6の事業）
（7の事業）

農産局園芸作物課
環境バイオマス政策課

（03-6738-6162）
（03-6744-1865）